

会議名等	
2015年度つくばチャレンジ第2回実行委員会	
開催日時	平成27年10月17日（土）午後4時30分から午後5時45分まで
開催場所	つくば国際会議場 中会議室 201
(出席者) 実行委員：27名 事務局：飯村、小川、岩田、中村、川俣、芳山	
【議事等の記録】	
1. つくばチャレンジ2015 実験走行の報告 ・横断歩道について	
2. つくばチャレンジ2015 本走行について ・タイムスケジュール ・走行の手順 ・実行委員の役割分担	
3. その他 ・つくばチャレンジシンポジウム(1/5)の開催について ・実行委員会新年会について	
《意見交換》	
【横断歩道について】	
<ul style="list-style-type: none"> ・< 油田委員長 >横断歩道の担当者を置き、ある程度経験をしていく必要がある。重点的にお願いしている(大矢委員、伊達委員、渡辺委員)。将来的にはロボットが自分で判断して横断歩道を渡らせたい。 ・< 委員 >大清水公園側を走ってくる自転車をケアする必要がある。大清水公園側で車を止める委員は北から来る自転車を見られない。自転車は停まってくれないため危ない。前を向けない安全管理者がいる。安全管理者の歩く位置を決める必要がある。 ・< 委員 >17日から板を出して止める方法にした。パネルがなくなれば自動でスタートする方法は、タイムロスが少ない。(宇都宮プロジェクトがそのようなプログラムでうまくいていた。) ・< 委員 >横断歩道からはみ出したら止めて良いか。 ⇒< 油田委員長 >OK。 ・< 委員 >ロボットの撮影をしている人が車道にはみ出しているので注意をする。 ・< 油田委員長 >ロボットよりも、安全確認する委員やオペレーターが危険になる可能性。安全に係る注意すべき点。 ・< 委員 >安全管理者の位置、前にいたり横にいたりする。誘導棒を持たせなくしたことが裏目にでていたのではないかと。安全管理者の自覚を促す役割があるのでは。 ・< 油田委員長 >安全管理者の腕章を作るなど対策を練る。 ・< 委員 >横断歩道の板を大きくしてほしいとの要望があった。 	
【マネキンについて】	
<ul style="list-style-type: none"> ・< 委員 >探索対象①、②の紙が立看板の反射テープを隠していないか要確認。 	

【つくばチャレンジシンポジウムについて】

<坪内委員より>

- ・ 1/5(火) つくば国際会議場で開催
- ・ スケジュールは昨年度と同じ。
- ・ チームに成功体験を話してもらうことで、次の人に対するインセンティブと技術トランスファーにつながる。
- ・ 案としてデ変研さんや NVIDIA さんに講演していただくことを考えている。
- ・ チャレンジ内のチームでもレベル差が出ている。完走を目指すチーム向けに技術的な講演してもよいと考えている。(前の日にも会場をとっている)
- ・ ご意見をメールなどでご連絡頂きたい。

<油田委員長>・次回実行委員会はシンポジウム時。

【本走行について】

- ・ <油田委員長>チームを持っている委員の方は、自分のチームの走行時以外は協力をお願いしたい。
- ・ <委員>随走委員が不足する。30 台目以降が足りなくなるため、担当を増やしてほしい。誰が随走委員なのか分かるようにしてほしい。詰所の設置や腕章など。
- ・ <委員>探索対象は委員でなくてもよいのではないかな。

【その他】

- ・ <油田委員長>重さの制限についてなど、なるべく自由な議論が出来る場を設けたい。また横断歩道の走行など、今後の課題などについて議論していきたい。

以上

【参加した実行委員】(50 音順)

安藤 吉伸	芝浦工業大学	鶴賀 孝廣	つくば市
飯島 純一	明星大学	富沢 哲雄	電気通信大学
伊佐間 久	茨城県	長坂 善禎	中央農業総合研究センター
市浦 茂	NVIDIA	長谷川 忠大	芝浦工業大学
上田 智一	つくば市	畑中 豊司	(株) データ変換研究所
内村 裕	芝浦工業大学	細田 祐司	日本ロボット学会
大川 一也	千葉大学	森岡 一幸	明治大学
大矢 晃久	筑波大学	油田 信一	芝浦工業大学
岡田 真	茨城県工業技術センター	吉留 忠史	神奈川工科大学
尾崎 功一	宇都宮大学	吉見 卓	芝浦工業大学
小林 新雄	ヤトロ電子	渡辺 敦志	東北大学
高田 青史	TCI		
高橋 勝	昭和飛行機テクノサービス (株)		
竹内 栄二郎	名古屋大学		
伊達 央	筑波大学		
坪内 孝司	筑波大学		